

## 第2章 本市の概要

---

## 第2章 本市の概要

### 第1節 沿革

本市は、昭和29年の町制施行以降、昭和37年のプリンス自動車工業(株)の操業開始や昭和41年からの都内最大の都営村山団地の入居開始を契機として人口が急増し、昭和45年11月3日に市制を施行し、現在に至っています。

市制施行以降は、昭和52年に新庁舎（現庁舎）が完成し、昭和55年に市内循環バスの運行を開始しました。平成になり、市民ニーズに応じた公共施設の整備を図り、平成14年には温泉施設（村山温泉「かたくりの湯」）と市民総合センターを開所し、平成15年には総合体育館を開館しました。近年は、教育やスポーツの推進に積極的に取り組み、平成22年には多摩地区初となる施設完全一体型小中一貫校である「小中一貫校村山学園」を開校しています。

<年表>

時 期	経 緯
明治22年4月	北多摩郡中藤村ほか3か村組合が設立される。
明治26年4月	北多摩郡中藤村ほか3か村組合が神奈川県から東京府に編入する。
大正6年4月	3か村が合併し、東京府北多摩郡村山村となる。
昭和29年11月	町制施行により、東京都北多摩郡村山町となる。
昭和41年	都営村山団地の入居開始
昭和45年11月	市制施行により、東京都武蔵村山市となる。
昭和52年	新庁舎（現庁舎）開庁
昭和55年	市内循環バス運行開始
平成14年	温泉施設（村山温泉「かたくりの湯」）オープン 市民総合センター開所
平成15年	総合体育館開館
平成18年	緑が丘ふれあいセンター開所
平成22年	小中一貫校村山学園開校（多摩地区初となる完全施設一体型小中一貫校）
平成25年	三ツ木庭球場開設
平成28年	歴史民俗資料館分館開館
令和2年	さいかち児童館・学童クラブ、公民館さいかち分館及びさいかち老人福祉館で構成される複合施設開館

## 第2節 地理

本市は東京都心から約35km圏内に位置し、東西に約5.2km、南北に約4.7kmの市域を有し、面積は15.32㎏です。西は瑞穂町、南は立川市、東は東大和市、さらに北部は狭山丘陵をはさんで埼玉県所沢市に隣接しています。

市を象徴する狭山丘陵は、市北部を西から東へ続き、村山貯水池（多摩湖）、山口貯水池（狭山湖）、市民の広場、都立野山北・六道山公園及び市立野山北公園があります。

道路は古くから発達し、青梅街道、新青梅街道、江戸街道などが主要道路として市内を走っています。現在まで市内には軌道交通がありませんが、多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸の実現に向け、都市核地区土地区画整理事業にも取り組んでいます。また、平成30年12月には東大和市、瑞穂町との共同で、モノレール延伸後を見据えたまちづくりの方向性を明らかにすることを目的として、「モノレール沿線まちづくり構想」を策定しました。

図 2-1 武蔵村山市の位置



